

防災塾・だるま の活動

副塾長 池田邦昭



2017年11月23日
神奈川の防災・減災の智

防災塾・だるま とは・・・

理念は・・・ 会員が相互に負担を感じることの無い
“緩やかな”繋がりの中で、自然に防災意識を
高めてゆく活動を展開する

目的は・・・ 防災情報の共有化
人的ネットワークの構築



人的ネットワークによる防災まちづくりを提案

防災塾・だるま

Risk Management with Soft & Hard Measures on Natural Disaster.

URL: <http://darumajin.sakura.ne.jp>

概要

- 設立: 2005年横浜市神奈川区主催の生涯学習「防災まちづくり講座」の事後グループとしてスタート
- 会員数: 130名 (2017年9月現在、うち学生5名)
- 会員の構成: 一般市民(地域住民活動・ボランティア活動)、研究職、行政職、企業従事職など
- 年会費: 1,000円
- 活動の拠点: 神奈川大学工学部荏本研究室



主な活動 ①

- だるま定例会 (毎月1回)
- 防災まちづくり談義の会 (148回連続開催 毎月1回)
自由参加、参加費無料
- 実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 (12年連続開催)
- 行政の防災計画などに市民意見を提案
(パブリックコメント)



主な活動 ②

- 地域防災への協力講座

横浜市内ケアプラザ、 県西地域自治会組織など



- 学校防災への協力講座

横浜市立港中学校など



- 地域防災への協力活動

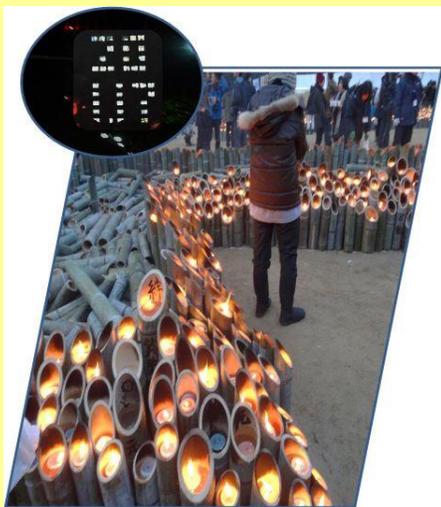
神奈川県建築士会防災委員会など

主な活動 ③

・ だるま防災教育資料の編集・管理

防災・減災の実戦ゲーム「J-DAG」、防災めぐり など

・ 防災活動団体との交流（被災地の見学・交流）



J-DAG は 防災・減災の実践的ゲーム

大地震などの大災害が発生すると、発災直後の時間帯が最も命に係わったり家屋財産を失ったりします。

この時間帯における自助・共助の適切な行動が犠牲者と被害を大幅に減少させる決め手になります。

J-DAG (Just Disaster Action Game) とは、防災・減災を目標に災害発生直後の被害状況に対して適切な判断と対処を、そして共助・協働の活動をリアルタイムで実行する「発災直後の行動ゲーム」です。





広報の活動 (HPなど)

● だるまHP

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

● 「防災まちづくり談義の会」チラシ配置

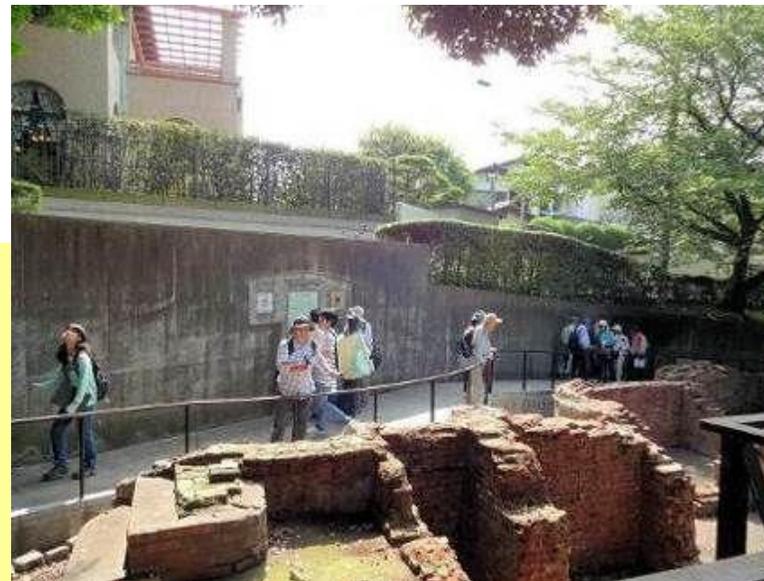
地域自主活動組織、 神奈川大学学内掲示、
生涯学習機関誌「萌」掲載など

● だるま10周年記念誌の発行



活動の事例

◆ 関東大震災遺構からの学習



◆ 「NHKスペシャル」の取材協力

データの蓄積

◆ 会合などの議事録・報告書・レポートなど

◆ 講演資料など

◆ 見学会・交流会などの報告書

◆ 記念事業などの記録



防災塾・だるま が目指すもの

1. 地域を大切にして地域防災力の向上を模索する
2. 国・自治体と住民の組織との連携をつける
3. 防災の原点は地域にあるという視点を主張する



終わり